

岡山県中小企業診断士会会報



一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

2019年12月15日発行（第16号）

ごあいさつ

■ □ 代表理事・会長 安藤 覺 □ ■

《改めて『三現主義』の大切さを感じる》



『三現主義』とは、「現場」に出向いて、「現物」を自分の目で見たり直接触れたりし、「現実」を把握することを重視する考え方で、人から聞いた話や噂話だけで判断や、行動

をすると誤ってしまうことを戒める言葉でもあります。確かに「聞くと見るとでは大違い」ということがあります。今回、この言葉を改めてかみしめる出来事がありました。

今年の10月27日から29日まで二泊三日の行程で、岡山県中小企業診断士会海外視察研修旅行に参加しました。今回の訪問先は中国・上海市で会員9名が参加しました。上海市の総面積は6,340km²で、岡山県の総面積7,114 km²より少し小さいぐらいですが、人口は岡山県が189万人なのに対し上海市は2,400万人を超える大都市です。事前に上海市の現状をあまり調べずに参加した私でしたが、実際に現地を訪れてみてビックリしたことを以下報告します。

①上海浦東国際空港と上海市郊外の龍陽路駅を結ぶ「上海トランスラピッド」と呼ばれる磁気浮上式鉄道（リニア新幹線）が既に実用化されており、我々も最高時速431kmを体感したこと。

②リニア新幹線だけでなく、すべての地下鉄乗

車口において「X線検査装置」が設置され、乗客全員に手荷物検査が実施されていたこと。

③電気自動車、電気バス、電気オートバイ、電気自転車などが普及しており、路上でエンジン音を聞くことがほとんどなかったこと。

④キャッシュレス取引が浸透しており、現地の人達はスマホを使って決済したり、サービスの予約をしており、現金を持ち歩く人がほとんどいないこと。現金泥棒が失業したらしいです。

⑤どこまでも続く高層ビル群と、美しくライトアップされた夜景の見事さが半端なかったこと。

⑥競争社会を生き抜こうとする人々の活気に満ちた雰囲気を感じたこと。かつての成長経済下での日本人と同様に「明日はもっといい日がある」と信じて活動されていると感じました。

日本国内では、「中国経済は失速してきており、今までの強引な経済運営の矛盾が噴出して自壊する可能性すらある」というような報道や、一部評論家の評価がありますが、自壊しかけているのは中国ではなく、合理的な判断や行動がスムーズに実施できていない日本ではないのか、という気持ちになりました。中国はまだまだ発展していく可能性を感じました。侮ってはなりません。

我々日本国民は日本経済を将来に向けて発展させ、国民が未来を信じて豊かさを享受できる世の中にしていかななくてはなりません。地域に根差し、地域経済発展に寄与する“あなたの街の経営コンサルタント”である中小企業診断士は、これからますます期待される存在になっていきます。共にがんばってまいりましょう！



中小企業診断士の日 記念事業

◆◆中小企業診断士の日記念事業◆◆

『こんなに使える！ 中小企業診断士の活用講座』

第一部：お役立ちセミナー

第二部：異業種交流会

日時：2019年11月12日（火）15:00～19:40

場所：ピュアリティまきび

（岡山市北区下石井2丁目6-41）

当事業は、年に一度開催される中小企業診断士の活動を知ってもらうためのイベントです。



今回は支援機関4名の皆様から診断士の活用事例をご紹介いただきました。

まずは公的支援機関から、枝 純一郎 様（岡山商工会議所 中小企業支援部 金融支援課 課長）と津田 健治 様（岡山県商工会連合会 組織支援課 課長）より、商工会議所や商工会は中小企業診断士と中小企業をつなぐ窓口であり、公的支援機関のご紹介と中小企業診断士の活用事例をお話いただきました。

続いて信用保証協会から、加藤 弘之 様（岡山県信用保証協会 業務統括部 創業・経営支援統括課 課長）より、岡山県信用保証協会が岡山県中小企業診断士会に委託し、毎年100社以上の実績がある経営安定サポート事業の事例をお話いただきました。

最後に金融機関から、伊達 和宏 様（株式会社中国銀行 ソリューション営業部 リサーチ&コンサルティング担当次長）より、中国銀行における本業支援への取組および中小企業診断士の活用

事例をお話いただきました。

定員を上回るご参加（講演会74名、交流会62名）をいただき、交流会も大変盛り上がりました。

参加者内訳（講演会）

中小企業診断士（23名）、中小企業経営者等（19名）、金融機関（17名）、士業・専門家（6名）、支援機関（5名。県市を含む）、その他（4名）

更新研修修了

◆◆中小企業診断士登録更新研修会◆◆

日時 令和元年9月7日（土）

12時50分～17時

場所 ママカリフォーラムレセプションホール

受講者数179名



新しい中小企業政策について

中国経済産業局 内海 盛之 様

中小企業の人材活用・育成支援

～中小企業の働き方改革～（講義）

社会保険労務士 笹井 茂樹 様

中小企業の人材活用・育成支援

～中小企業の働き方改革～（演習）

社会保険労務士 笹井 茂樹 様

「新しい中小企業施策について」では、少子高齢化・人口減少対策として、事業承継、生産性向上、地域活性化等の支援策のポイントをご説明いただき、受講者自信がこれらの施策を推進できるよう理解を深めることができ、「中小企業の人材活用・育成支援～中小企業の働き方改革～」では、改

正労働基準法・労働安全衛生法への対応や中小企業が利用できる助成金について、事例を交えて詳しい講義をしていただき、受講者の知見を大いに高めることができました。

また、働き方改革関連法について、中小企業が直面する悩みや疑問について、実務的な演習を実施していただき、非常に有意義な研修機会となりました。

第8回 土業連携フォーラム

日時:令和元年9月20日(金) 18:00~20:30

場所:ピュアリティまきび

岡山市北区下石井2-6-41

参加者 107名

内容:

岡山自由業団体連絡協議会が主催し、第8回土業連携フォーラムが9月20日18時から、ピュアリティまきびで開催されました。

土業間の垣根を越えて積極的な情報交換、名刺交換等を行いました。懇親会では初見の方を始めとして各会に所属する自由業の方々とつながることで、今後のコンサルティング活動に役立てて成果を上げて頂くことを期待いたします。

フォーラムでは、当士会の大西副会長が中小企業診断士の業務を紹介しました。

参加土業は以下の通りです。

弁護士会、税理士会、司法書士会、日本弁理士会、土地家屋調査士会、不動産鑑定士協会、行政書士会、社会保険労務士会、公認会計士協会、中小企業診断士会。

今回は当会が当番会としてお世話係を引き受けていましたが、会員皆様のご協力により無事にフォーラム&懇親会を終了できたこと、感謝いたします。

次回、第9回土業連携フォーラムも会員皆さんの積極的な参加を期待いたします。

令和元年度海外視察事業・上海視察報告

令和元年10月27日(日)~29日(火)の3日間、研修委員会の海外視察事業として、上海を視察してまいりました。(参加者(敬称略):安藤、松本、乙倉、中原、入矢、佐藤、津田、栗原、太田の9名)。

海外視察事業の目的は、(1)日常触れられない日本以外の文化、経済、IT最先端の地を直に見聞することで、新たなインスピレーションを生む。

(2)中小企業診断士として、中小企業の海外展開支援のスキル向上、知識の蓄積を図る、を掲げました。

視察は、渡航1日目の10月27日(日)、翌日28日(月)の2日間に渡って実施いたしました。視察に関しては、中国銀行(本店:岡山)上海駐在員事務所の政次康男様にご案内いただき、多くの学びを得ることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

【10月27日(日) 14:00~17:00】

上海浦東国際空港からマグレブ(リニアモーターカー)にて、上海中心地に移動し、ホテルにチェックインした後、視察を行いました。

・アリババが経営するスーパーマーケット『盒馬新鮮(フーマーシェンション)』



キャッシュレスで買い物ができるスーパーです。現金用レジも1つありますが、誰も利用していません。

私はオンライン注文での宅配の仕組みに興味を持ちました。

ネットで予約すると、店員さんが宅配用カバンを持って商品を集め、写真のようにベルトコンベア式にカバンを運んでいく仕組みになっています。

この後、いわゆる「運び屋」と言われる、街中をバイクで走っている個人経営の宅配業者にカバンを渡して配達してもらう仕組みです。



・ラッキン・コーヒー (瑞幸咖啡、Luckin coffee)

オンライン注文でキャッシュレス決済を行い、店舗ではコーヒー受取だけを行うビジネスモデルで店舗網を拡大している、ラッキンコーヒーを視察しました。



・世界一大きいスタバ

世界一大きいスタバである『スターバックス・リザーブ・ロースタリー上海』に行きました。巨大な建物の1階、2階全てがスタバになっていました。



・外灘 (わいたん) の夜景

視察後は、外灘の夜景を觀賞しながらの夕食でした。私が7年前に見た夜景よりもパワーアップした美しい夜景になっていました。ここ数年の中国・上海の発展ぶりを実感できました。



【10月28日 (月) 9:00~17:00】

・JETRO上海

視察2日目は、JETRO上海を訪問し、中国・上海の経済事情についてブリーフィングを受けました。「日本企業は意思決定が遅く、ビジネスチャンスを失っている」とのお話を伺い、意思決定の

早い中小企業にとって、今後大きなチャンスが巡ってくるとの認識を持ちました。

・中国銀行上海駐在員事務所様

首席代表の政次康男様より、上海の経済事情について、決済の視点にフォーカスしたお話を伺いました。



・淵本重工業株式会社様

午後より、上海中心地より車で1時間ほどのところにある淵本重工業株式会社様(本社:赤磬市)を訪問し、総経理の池永延以様より、上海進出のきっかけや、中国での人事労務の苦勞、日本より上海のほうが良い点、などを伺いました。「中国では「あうんの呼吸」がない」「日本のほうが非合理、不合理な仕事が多い」などといったお話を伺いました。



また工場も視察させていただきました。



視察終了後に、上海近郊にある水郷古鎮として有名な朱家角(しゅかかく)を訪れました。三国志の時代から既に村が存在していた地であり、明・清の時代からの古い街並みを楽しめます。岡山の倉敷美観地区になんとなく似た景色です。



【10月29日(火)】

最終日は、中国のお寺『静安寺』と『上海タワー(上海中心大廈)』を訪れました。上海タワーは標高632mで、世界2番目の高層ビルです。



各々で提案します。参加者の方の企業内で培ったスキルと試行錯誤して考える素晴らしいアイデアを提案して頂く予定です。また、具体的な助言や計画書の作成により、各企業の今後の売上拡大に繋がることを期待しています。

上記事業は中小企業診断士として経営者の伴走者となり中小企業経営を盛り上げていくために必要な知識の習得と、独立の際に必要な実践的な経験ができると考えています。

無料相談会

【しんきん合同ビジネス交流会にて開催】

日時：令和元年9月11日（水）

場所：コンベックス岡山

相談員：田中久展、北島雄一
来訪企業4社

（内個別相談1社）

当会ブースでの無料相談と、他ブースへの情報提供（診断士の活動、イベント）を行いました。



【10 土業合同無料相談会開催予定】

日時：令和2年1月21日（火） 9:30～16:00

場所：岡山会場：岡山市役所 7階大会議室

倉敷会場：倉敷市役所 10階大会議室

津山会場：津山本庁舎 2階大会議室

担当：岡山 加藤弘治

倉敷 田邊一平

津山 玉置定男

研究会事業の活動予定

●●地域活性化研究会●●

当会は企業活動や観光など地域の発展、活性化を図る調査・研究を行っています。昨年度はインバウンドの切り札となっている「客船クルーズ」による岡山県の観光振興についてまとめました。

現在は岡山県内の各自治体による観光振興の取組について調査を行う構想を練っています。

少子高齢化、人口減などにより市場が縮小している岡山県は観光振興により地域社会を活性化させることが絶対不可欠です。本格的な活動は来年以降になりますが多くの自治体、関係団体等が参考にしてもらえる内容に仕上げたいと考えています。

写真は忘年会を兼ねて、新しい取組に向けて決起を行っているところです。



●●循環ビジネス研究会●●

今年、循環ビジネス研究会は診断士会の調査研究事業に応募・実施しています。テーマとして廃プラスチック問題に取り組んでいます。廃プラ問題の現状把握と総論としての解決策を目指しています。現在、執筆の担当割りを決めて年度末の完成に向けてメンバー一同奮起しているところです。その一環として高梁市の株式会社タイガーマシン製作所を訪問し、使用済み紙おむつ燃料化装置についてお話を伺いました。

日時：9月14日（火）

場所：株式会社タイガーマシン製作所

参加メンバー 荒木、藤原（康）、藤原（敬）

内容：紙おむつのリサイクルについて

・使用済み紙おむつ燃料化装置は鳥取県の（株）スーパーフェイスと提携しています。（株）スーパーフェイスが開発を担当し、（株）チヨダマシナリーが生産と販売を担当しています。

・保育園・老人介護施設で発生する使用済み紙おむつは一般廃棄物、病院では医師の判断で一般廃

棄物と医療廃棄物に分けられます。使用済み紙おむつは一般廃棄物の10%を占めています。使用済み紙おむつ燃料化装置は一般廃棄物が対象です。

・紙おむつは60%が紙、30%が塩ビ、10%が吸水性ポリマーで出来ています。

・使用済み紙おむつ燃料化装置ではペレットに加工します。ペレットの熱量は約5,000Kcal/Kgであり、木質ペレットは4,000Kcal/Kgであり、専門のボイラーを使用しています。

・老人介護施設での利用者一人平均使用済み紙おむつ1Kg/日で、500~600規模の施設では500Kg/日となり、使用済み紙おむつ燃料化装置を導入しても採算がとれると考えました。

・使用済み紙おむつは一般廃棄物であり、一般廃棄物は市町村（広域連携を含む）処理が原則であり、人口減少の中で焼却炉の採算確保のために市町村も一般廃棄物の確保を行っており、このことが事業に大きな影響を及ぼしています。

・なお、訪問当日は(株)タイガーマシン製作所タイガーチヨダマテリアル事業部 部長 石井 克己様と下橋 峻様にお世話になりました。ありがとうございました。

●●AI研究会●●

AI研究会は2018年8月に発足しました。現在、研究会メンバーは5名（太田、岡本、長野、入矢、田中）です。参加者全員がプログラミング経験者、システム開発経験者です。

現在は、AI研究の題材として、(1) 観光AIアプリの研究、(2) 中小企業の製造業が保有するビッグデータの活用、の2題を並行して進めています。

(1) 観光AIアプリについては、マスコミなどで一時期脚光を浴びていたにも関わらず、今はその存在がほとんど消えております。その原因と今後の方向性について探るだけでなく、「生き残るAI」「消えていくAI」について研究を行っています。

(2) ビッグデータ活用については、実際に製造業でビッグデータ収集を進めている中小企業とコラボできるよう、データベース設計などで情報交換を行うなど、議論を進めています。

AI研究会は、まだまだ大きな成果は出ておりま

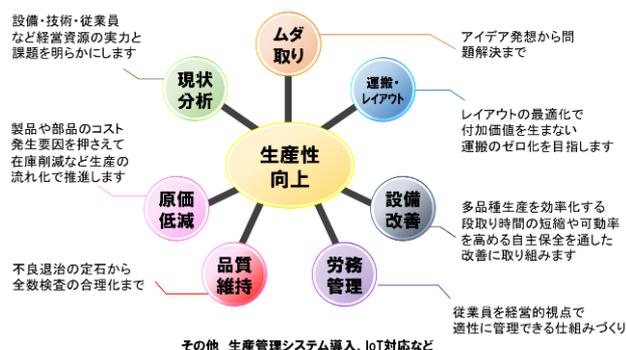
せんが、これからも地道にじっくりと研究を続けてまいります。システム開発経験者の中小企業診断士の方のご参加をお待ちしています。

●●ものづくり企業研究会●●

「ものづくり企業研究会」は、ものづくりに係わる企業を経営の視点から、より強力に支援していくことを目的として、先端潮流も見極めつつ、ものづくり企業の経営支援を行う、ノウハウ蓄積活動を続けています。

本年度は、「モノづくり企業の生産性向上」をテーマと定め、鳥取県診断士会との交流・情報交換や、金融機関からの紹介企業への予備診断実施などで、実践的な情報の収集を行っており、また、「その日の業績が分かる実績収集ツール」の開発にも着手しています。

先々は、実践ノウハウを体系的かつ力点を抑えての実証ノウハウ集として、整備していくこととしています。



受託事業

令和元年11月末現在

- ・岡山県信用保証協会安定サポート事業（80件）
- ・岡山市企業支援補助金事業（8件）
- ・倉敷市経営相談（14件）
- ・倉敷市就労継続支援A型事業所経営支援塾
- ・岡山県生活衛生営業指導センター経営相談（5件）
- ・新見市経営相談（6件）
- ・岡山県産廃診断（1件）
- ・赤磐市産業支援相談業務
- ・岡山県労働部内研修（2件）
- ・岡山県就労継続支援A型事業所経営改善（1件）

新会員ご紹介

■□ 濱 正和 □■ (2019年10月入会)



兵庫県出身。岡山市を拠点として活動を始めた金融機関出身の企業内診断士です。企業内診断士だからこそのスキルやネットワークなどの強みを活かした連携で中小企業支援を行い、岡山県診断士会の発展にも貢献したいです。何卒、よろしくお願いします。

【自己PR・得意分野】

地元の金融機関への勤務経験より、中小企業の経営との関わり方は、地域性や地場産業などの業界特性を踏まえたうえで、資金計画（補助金申請含む）や事業計画、経営改善計画などの助言・作成を得意とします。また、近畿エリアとの接点があるため、県外の新たな出会い（マッチング）や課題の解決策（ソリューション）が模索できるのではと考えます。

もうひとつの私のテーマは「船舶」です。海運業、造船、エンジンなど、海に関わる仕事を受けています。海事を得意とされている方との出会いや仕事があれば嬉しく思います。

私自身も、岡山県診断士会での新たな出会いと成長の機会を楽しみにしています。複雑な経営課題に対して、多様な連携（ダイバーシティ）で突破していきましょう！

■□ 小島 三奈 □■ (2019年10月入会)



はじめまして。この度ご縁あって岡山県中小企業診断士会に入会させていただきました。私は、診断士と社労士でプロコンとして活動しています。仕事のモットーは「信頼に値する仕事をする」です。プロコンとしても人

間としても若輩者ですが、先輩方にはご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願いします。

【自己PR・得意分野】

特に力を入れている分野は、「組織活性化」です。一人でも多くの従業員が笑顔で主体的に動き、業績向上が図れるような、各種支援を行っています。また、「働き方改革」対応支援、「健康経営優良企業認定制度」取得支援も行っています。

その他、経営計画、経営改善計画、創業支援、人事労務支援、人事諸規程作成、補助金助成金支援など幅広く対応させていただいています。

■□ 市 拓郎 □■ (2020年1月入会予定)



中小企業診断士の勉強をスタートし、先輩診断士と交流を深める中で支援者の仕事に魅了され、前職を辞め独立しました。岡山県のコンサルタント会社に所属後、約5年が経過し中小・小規模事業者への支援を行っています。

また、岡山の支援団体から農林漁業者の所得向上を目指す事業の仕事を受けており、農林漁業者への支援にも取り組んでいます。

【自己PR・得意分野】

企業とのコミュニケーションを大事にし、現在の課題、今後目指す姿に耳を傾け、寄り添った支援を心がけています。企業の取り巻く環境の変化は速く、また、相談される内容は多様です。支援者に求められる知識の補充を継続的に行うことで、信頼される診断士を目指しています。宜しくお願いします。

■□ 長滝 智典 □■ (2019年6月プラザ会員入会)



岡山県出身で大学、就職も岡山一筋で暮らしてきました。この3月に中小企業大学校の養成過程を卒業し、令和元年5月に登録となりましたので、令和初登録の診断士の一人となりました。

岡山県信用保証協会の企業内診断士として、診断士会の方々とは密な連携を行い地域の持続的発展に努めたいと思いますので今後ともよろしく願います。

【自己PR・得意分野】

金融畑で数多くの企業様の審査業務を行なってきたため、企業の問題発見等に繋がる財務分析を得意としています。反面、アクションプランの提案や実行支援についてはノウハウが少なく、診断士の諸先輩方の背中を見て学んでいきたいです。

最近のマイブームはお酒を飲みながらプライムビデオや YOUTUBE を鑑賞することです。

出版しました！

◆はじめて「資金繰りに悩む社長」を担当した時に読む本 藤井正徳

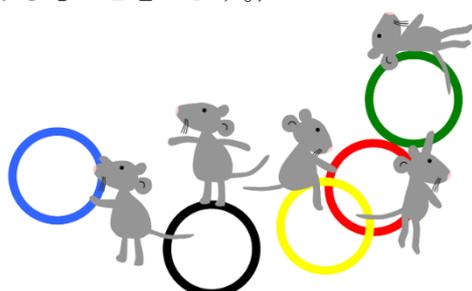


金融機関や行政など、多方面から中小企業診断士の機能発揮を期待されている「経営改善計画策定支援」について、制度概要や具体的な助言活動の進め方、具体的な経営改善の事例等を書籍としてまとめました。



中小企業診断士としての活躍のフィールドを広げるために、資金繰りに悩む多くの中小企業経営者への貢献のために、ぜひ多くの方にお読み頂ければ幸いです。

(金融機関や支援機関等にお勤めの方向けのコンサルティング能力向上のための教材としてもお役立て頂けるものと思います。)



事務局からのお知らせ

◇2020年度 定時総会開催予定◇

日時：2020年6月20日(土) 15時～17時
懇親会 17時～19時

会場：ピュアリティまきび

◇2020年度 理論政策更新研修予定◇

日時：2020年9月12日(土) 12時50分～17時
懇親会 17時～19時

会場：岡山コンベンションセンター
レセプションホール



瀬戸内海 朝日

編集後記

来年は「子」年です。東京で2回目のオリンピックが開催される年でもあります。経済効果 3兆円とも言われているので、中小企業診断士は中小企業から「チューもく」され、活躍されることをお祈りいたします。

岡山県診断士会会報 第16号

令和1年12月15日 発行

一般社団法人岡山県中小企業診断士会

〒700-0907 岡山北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル8F

Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554

発行人 会長 安藤 覺

編集人 専務理事 松本 直也

